

## バイオサイエンス学科 学会発表

【発表者について】アンダーラインは本学教員および研究員、○は発表者、※は大学院生、卒研生または卒業生

学会名	第38回日本分子生物学会・第88回日本生化学会 (BMB2015)
演題名	神経-免疫関連に基づいた自閉スペクトラム症の新たな治療戦略
発表者	○ <u>内野茂夫</u> 、 <u>和賀央子</u> 、 <u>村上浩子</u> (神経生物学研究室)
内容	2015年12月に神戸ポートアイランドで行われた上記学会にて、ワークショップ「脳内免疫と疾患 ～神経科学のオフENSE研究からディフェンス研究へ～」で、内野教授が上記演題を発表した。発表内容は、免疫関連分子が脳発達に果たす役割について概略し、これまでの内野研の成果に基づき、それらの免疫分子に着目した新しい自閉スペクトラム症の根本的治療法を提唱した。本学会には、内野研のポスドク、大学院生、卒研生全員が参加した。なお、本ワークショップのオーガナイザーは本学の平澤孝枝講師ならびにデューク大学の井上誠先生が努めた。
関連画像	